

令和元年度目標管理シート

【まちづくり部長 粕谷 裕司】

市の目標	将来都市像「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山」の実現		
部の目標	生活充実都市にふさわしい、みどりと都市機能が調和したまちづくり		
部の概要	人員	57人	予算規模 一般会計 4,769,534千円 下水道特別会計4,306,917千円

【具体的な取り組み】

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
1	都市計画課	総計	地区計画の誘導	東村山都市計画道路3・4・5号線、3・4・10号線及び3・4・31号線の一部区域について、沿道の地区計画策定に向けて状況把握を行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●沿道の地区計画策定に向けて、基礎的な調査を行った。 ・対象地及びその周辺の土地利用の状況を調査した。 ・今後実施する土地利用等意向調査の進め方を検討した。
2	都市計画課	総計	地方創生推進のためのまちづくり検討	東村山市内の工場等立地に関する土地利用上の課題を整理し、都市計画による解決方法を検討する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●地方創生及び工場等立地に関する基礎的な調査を行った。 ・地方創生に向けた都市計画面での対応の方向性を検討した。 ・工場等の立地について、現況を調査し、課題等を整理した。
3	まちづくり推進課	総計	東村山駅周辺まちづくり	東西の駅前広場を常時往来できる方策について、関係機関と協議を行うと共に、高架下活用方策や東口駅前広場再整備等について検討を行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●東西の駅前広場を常時往来できる方策について、関係機関との協議を令和元年5月、8月、令和2年3月の年3回実施した。 ●市民ニーズ等を踏まえ高架下活用方策について検討を行った。 ●東口駅前広場再整備等についても検討を行った。 ・高架下活用方策の検討にあたって、市民で組織するまちづくり団体と意見交換を行うとともに、高架下空間の活用に関する庁内意向調査を実施した。 ・令和元年7月、同年11月、令和2年3月に東村山駅周辺まちづくりニュースを発行した。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
4	まちづくり推進課	総計	久米川第1号踏切道拡幅事業	踏切部及び南側歩道部の拡幅について、東京都及び鉄道事業者の取り組み促進に向けた働き掛けを行う。	A	●踏切部及び南側歩道部の拡幅について、東京都及び鉄道事業者に対して取り組み促進に向けた働き掛けを行った。
5	まちづくり推進課	総計	秋津駅・新秋津駅周辺まちづくり	秋津駅南まちづくり推進協議会との勉強会を行うと共に、協議会が活用するまちづくり調査支援事業を支援する。	A	●令和元年5月、10月、令和2年2月に秋津駅南まちづくり推進協議会事務局会議を3回開催した。 ●協議会が活用するまちづくり調査支援事業について支援を行った。 ・協議会の会議に出席し助言等を行った。
6	まちづくり推進課	総計	都市計画道路3・4・5号線整備事業	(新規区間)道路予備設計等を行うとともに、関係機関との協議を行い、事業認可を取得する。	A	●(新規区間)道路予備設計等を行うとともに、関係機関と協議・調整を行い、令和元年12月20日に都市計画事業認可を取得した。 ●都市計画事業認可取得後、用地課主催で関係権利者を対象に用地補償説明会を開催した。
7	まちづくり推進課	総計	都市計画道路3・4・10号線整備事業	道路予備設計等を行うとともに、関係機関との協議を行い、事業認可を取得する。	A	●道路予備設計等を行うとともに、関係機関と協議・調整を行い、令和2年1月17日に都市計画事業認可を取得した。 ●都市計画事業認可取得後、用地課主催で関係権利者を対象に用地補償説明会を開催した。
8	まちづくり推進課	総計	都市計画道路3・4・31号線整備事業	道路予備設計等を行うとともに、関係機関との協議を行い、事業認可を取得する。	A	●道路予備設計等を行うとともに、関係機関と協議・調整を行い、令和2年1月17日に都市計画事業認可を取得した。 ●都市計画事業認可取得後、用地課主催で関係権利者を対象に用地補償説明会を開催した。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
9	まちづくり推進課	総計	駅エレベータ等設置事業	西武遊園地駅へのエレベーター設置等について、鉄道事業者に事業化に向けた要望を行う。	A	●事業化が促進されるよう、鉄道事業者に対して要望を行った。
10	まちづくり推進課	総計	駅構内の安全対策	鉄道事業者の取り組みに連携して対応する。	A	●鉄道事業者と取り組み状況等について情報共有を行った。
11	市街地整備課	総計	都市計画道路3・4・5号線整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・継続区間の電線共同溝整備工事及び補償代行工事を完了させる。 ・新規区間の道路・橋梁・電線共同溝予備修正設計を完了させ、事業認可を取得する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●継続区間の電線共同溝整備及び補償代行工事は、令和元年11月に完了した。 ●新規区間の道路・橋梁予備修正設計は、令和2年3月に完了し、事業認可を令和元年12月に取得した。電線共同溝予備修正設計は、前提となる道路設計の関係機関協議に時間を要した為、完了には至らなかった。
12	市街地整備課	総計	都市計画道路3・4・27号線整備事業	道路築造、道路照明整備工事及び安全施設設置工事を完了させ、全線供用開始を行う。	A	●道路築造、道路照明整備工事及び安全施設設置工事は、令和元年7月に完了し、全線供用開始を令和元年7月末に行った。
13	市街地整備課	総計	道路拡幅事業	都市計画道路3・4・9号線及び市道第280号線1の道路・電線共同溝予備設計を完了させる。	A	●道路・電線共同溝予備設計は、令和2年2月に完了した。
14	用地課	総計	鉄道沿い道路の整備	新鉄付3の2件の移転促進を図り、更地化、引渡し目安を年度内とする。	B	<ul style="list-style-type: none"> ●移転工程を明らかにしたが、年度内の更地化、引き渡しには至らなかった。 ・移転促進に向けて、関係人と十分に折衝を行ってきたが、移転先の事情により遅れが出ている。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
15	用地課	総計	都市計画道路3・4・5号線整備事業	事業中区分（継続区分）の用地取得を完了する。 新規区分については事業認可後、速やかに用地補償説明会を開催する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ●事業中区分（継続区分）においては、未取得用地8件のうち4件の契約を完了した。 ・残る未取得用地については、契約に向けて折衝を行い、並行して事業認定取得の検討を行った。 ●新規区分については、令和元年12月20日に事業認可を取得し、令和2年1月26日に用地補償説明会を開催した。
16	用地課	総計	都市計画道路3・4・10号線整備事業	事業認可後、速やかに用地補償説明会を開催する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年1月17日に事業認可を取得し、令和2年2月11日及び20日に用地補償説明会を開催した。
17	用地課	総計	都市計画道路3・4・31号線整備事業	事業認可後、速やかに用地補償説明会を開催する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年1月17日に事業認可を取得し、令和2年2月20日に用地補償説明会を開催した。
18	みどり公園課	総計	北山公園整備事業	事業用地の公有地化のため、地権者の方と合意形成に向けた折衝を行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> ●事業用地の公有地化には至らなかったが、北山公園の整備の方向性については、一定の理解が得られた。 ・北山公園整備事業計画（案）を提示し、一定の理解を得られた。
19	みどり公園課	行革	公共資産（公園）の維持管理のあり方検討	北山公園施設管理について、管理業務委託の実施に伴う検証を引き続き行う。また、市内公園の一括管理委託などの管理方法の検討を進める。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●北山公園の菖蒲管理と同一の事業者が北山公園管理人業務を受託していることで、指揮命令系統が一本化されており、継続的に業務効率が向上した。 ●公園の管理方法について、先進自治体に関する調査や関係者へのヒアリング等を行った。 ●「公園管理のあり方」、「効果的な公園管理のしくみ」について検討し、課題の整理を行った。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
20	道路河川課	総計	災害時応急活動体制の強化	・前川溢水被害の減災対応として、下記の業務を実施する。 河川監視システム保守委託	A	●河川監視システム保守委託を当初契約にて締結した。 ・1年間を通じて安定稼働していたことを確認した。
21	道路河川課	総計	前川流域溢水対策事業	・前川流域の溢水対策事業として、下記の業務委託を実施する。 前川護岸改修工事等検討業務委託	A	●平成31年4月に業務発注し、予定通り令和2年1月に検討業務を完了させた。 ・短中期的取組として、徳蔵寺橋付近のバイパス検討、長期的取組として河川整備検討を実施した。
22	道路河川課	総計	道路拡幅事業	・道路拡幅工事に向けた、道路及び電線共同溝の設計を実施する。 市道第81号線1 市道第280号線1及び都市計画道路3・4・9号線	A	●令和元年5月に業務発注し、予定通り令和2年2月に設計業務を完了させた。 ・市道第280号線1及び都市計画道路3・4・9号線については、引き続き道路及び電線共同溝の設計を令和2年度に実施予定。
23	道路河川課	総計	道路改良事業	・道路改良工事（2路線）を実施する。 補助道第7号線 市道第447号線7 ・道路改良工事に向けた補足設計（1路線）を実施する。	A	●補助道第7号線と市道第447号線7の道路改良工事を完了させた。 ●市道第718号線（新秋津駅前広場）の補足設計を完了させた。
24	道路河川課	総計	JR武蔵野線道路橋耐震補強事業	JR武蔵野線道路橋耐震補強事業として、下記の委託事業を実施する。 武蔵野線宮前陸橋耐震補強工事委託	B	●年度末までに工事の出来高が上がらず、令和2年度に繰越手続きを行った。 ・台風19号による災害対応がJR側で発生したため、耐震補強工事の進捗に遅延が発生した。
25	道路河川課	総計	法定公共物調査・整理事業	整理可能な法定公共物の占用状況の調査を実施する。	A	●6路線の調査を完了させた。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
26	道路河川課	行革	市有財産の整理・売却・活用	整理可能な法定公共物の整理・売却・活用を行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●2件の払下げを完了させた。 ・都市計画道路3・4・5号線整備事業に伴う廃道敷の払下げ。（令和2年3月26日契約済）
27	下水道課	総計	空堀川流域下水道雨水整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・3・8号線整備事業に先立ち「空堀川左岸第二排水区（その2）」で公共下水道（雨水）管を120m布設する。 ・都市計画道路3・4・11号線整備事業に先立ち「空堀川右岸第三排水区（その2）」で排水面積0.20haについて公共下水道（雨水）管の実施設計を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●当該排水区1.45haについて公共下水道（雨水）管を整備した。 ・令和元年5月13日に都市づくり公社と施工業者が契約し、令和2年2月21日に完了した。 ●当該排水区0.22haについて公共下水道（雨水）管の実施設計を行った。 ・令和元年8月28日に都市づくり公社と設計会社が契約し、令和2年2月6日に完了した。
28	下水道課	総計	黒目川流域下水道雨水整備事業	都市計画道路3・4・5号線整備事業の進捗に合わせ、「黒目川第六排水区分」で排水面積0.26haについて公共下水道（雨水）管の実施設計を行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●当該排水区0.25haについて公共下水道（雨水）管の実施設計を行った。 ・令和元年8月8日に都市づくり公社と設計会社が契約し、令和2年2月10日に完了した。
29	下水道課	総計	都市計画道路3・3・8号線公共下水道（汚水）整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・3・8号線整備事業の進捗に合わせ、公共下水道（汚水）管を布設する ・令和2年度工事予定箇所の実施設計を行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年9月26日、11月13日と2回工事発注を行ったが入札不調であった。 年度内に工事が完了することが出来ないため事業を取りやめ、令和2年度実施予定とした。 ●道路整備計画に伴い、公共下水道（汚水）管移設の実施設計を行った。 ・令和元年9月10日に都市づくり公社と設計会社が契約し、令和2年2月28日に完了した。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
30	下水道課	総計	都市計画道路3・4・11号線公共下水道 (汚水)整備事業	令和2年度工事予定箇所の実施設計を行う。	A	●道路整備計画に伴い、公共下水道(汚水)管移設の実 施設計を行った。 ・令和元年8月28日に都市づくり公社と設計会社が契 約し、令和2年2月6日に完了した。
31	下水道課	総計	下水道総合地震対策事業	「下水道総合地震対策計画」に基づき、平成29年度の 調査結果を踏まえ、耐震化工事を行う。	A	●耐震化工事の実施箇所を特定し98箇所可とう性化工 事を実施した。 ・令和元年7月22日に都市づくり公社と施工業者が契 約し、令和2年1月15日に完了した。
32	下水道課	総計	都市計画道路3・4・5号線整備事業	都市計画道路3・4・5号線整備事業の進捗に合わせ、公共 下水道(汚水)管を布設する。	B	●令和元年9月26日、11月13日と2回工事発注を行っ たが入札不調であった。 年度内に工事を完了することが出来ないため事業を取り やめた。
33	下水道課	行革	下水道事業特別会計の健全化	公営企業会計への移行による安定経営の推進。	A	●令和2年4月の公営企業会計移行期限に向け、公営企 業会計システムの導入、固定資産台帳の作成、条例及び 規則の制定など、公営企業会計移行事務が滞りなく完了 した。